

2017年版

北海道の生涯学習の現状

～持続可能な潤いのあるふるさとづくりに向けて～

平成29年3月

北海道教育委員会

目次

はじめに

第Ⅰ部 本道の生涯学習の現状 . . . P 1～29

- 1 生涯学習に関する道民の意識
- 2 道内市町村における生涯学習推進体制の整備状況
- 3 北海道教育委員会の主な生涯学習振興施策
 - (1) 学習機会の提供
 - (2) 家庭教育支援の推進
 - (3) 望ましい生活習慣の定着
 - (4) 読書活動の推進
 - (5) 体験活動の推進
 - (6) 芸術・文化活動の推進
 - (7) 文化財の保護・保存
 - (8) 市町村等の生涯学習の振興に対する支援
 - (9) 各種関係団体等に対する支援
 - (10) その他

第Ⅱ部 持続可能な地域づくりの担い手たち . . . P 30～44

- 1 剣淵町「絵本の里けんぶちVIVAマルシェ」
- 2 羅臼町「羅臼町活性化ワーキンググループ」
- 3 浦幌町「うらほろスタイル推進地域協議会」
- 4 豊富町「豊富温泉もりあげ隊」
- 5 真狩村「農家レストラン」
- 6 岩見沢市「NPO法人 炭鉱（やま）の記憶推進事業団」
- 7 旭川市「NPO法人 グラウンドワーク西神楽」

第Ⅲ部 「持続可能な社会づくりの担い手づくり、 体制づくりに関する調査研究Ⅱ」 . . . P 45～80

現代的課題に関する調査研究（道立生涯学習推進センター）

参考資料 . . . P 81～85

- 1 北海道教育推進計画における主な取組（平成28年度）
- 2 北海道教育委員会所管の生涯学習関連施設一覧
- 3 審議会等

はじめに

北海道教育庁生涯学習推進局長 松浦 英則

今日、本道の少子高齢化や人口減少は全国を上回る速さで進行しており、地域においては、コミュニティ機能の低下や働き手不足による産業や経済の衰退など、様々な課題に直面しております。

このため、道では、住民一人ひとりの生涯学習が、生きがいや生活の潤いにつながることはもとより、地域の課題を自分のこととして捉え、学びで得た知識や経験をその解決に生かしていくことが必要との認識のもと、平成27年、今後の生涯学習の推進に当たっての基本的な指針として、「社会で生きる力を身に付け、持続可能な潤いのある地域」を目指す姿とする「第3次北海道生涯学習推進基本構想」を策定し、「道民カレッジ」をはじめとする様々な施策に取り組んでおります。

道教委では、今後、基本構想を踏まえ、地域づくりにつながる生涯学習をさらに道内各地域に広げていきたいと考えており、そのためには、生涯学習の推進を担う多様な主体、とりわけ地域住民に最も身近な行政機関である市町村が、それぞれの実態に即し、特色を生かした生涯学習推進施策が展開できるよう、必要な情報の収集・分析、提供などの支援に努めてまいります。

この「北海道の生涯学習の現状」は、その一環として、基本構想の「重要な視点」の一つに掲げております、「道民の学びを行動へつなげる」生涯学習の推進に向けて、道教委の関連施策をはじめ、基礎的なデータや地域づくりの先進的な事例などを取りまとめておりますので、市町村における各種計画の策定や事業の立案等、様々な場面で御活用いただくと幸いに存じます。

終わりに、調査に御協力をいただきました全道の市町村教育委員会の皆様、先進的な取組事例を紹介していただいた皆様に心から厚く御礼申し上げます。